

特集 2

環境教育

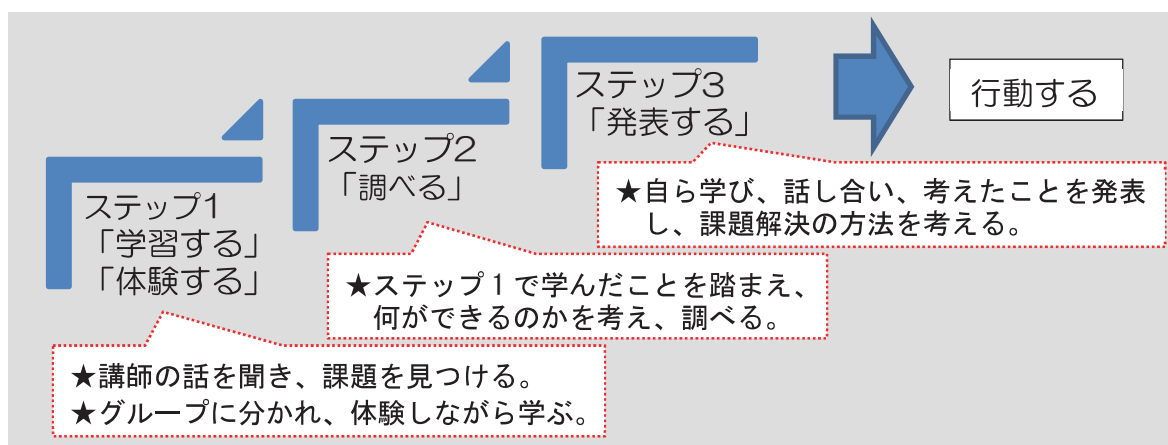


岐阜市がめざす環境教育

○「総合的な学習の時間」を活用した環境教育

岐阜市の第4次環境基本計画(計画期間:平成30年度～令和4年度)では、最重点項目に「環境教育・市民運動」を掲げ、子どもの頃からの環境教育、環境意識の向上、環境に配慮した行動を実践していくことが重要であることから、小中学校での環境教育を推進しています。

「総合的な学習の時間」を活用して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育むことを目指し、「“岐阜市”の豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくために何ができるのか」をテーマに、出前講座等を組み合わせた総合的な環境教育を進めています。



総合的な環境教育モデル

令和4年度は、小学校9校、中学校2校と協力し、総合的な環境教育を実施しました。

分野	実施校	学年
ごみの減量・資源化	岩野田小学校	4年生
	岩野田北小学校	4年生
	七郷小学校	4年生
	則武小学校	4年生
	本荘小学校	5年生
自然環境の保全	鶉小学校	5年生
	且格小学校	5年生
	長良小学校	3年生
	柳津小学校	5年生
地球環境の保全 ごみの減量・資源化 自然環境の保全	厚見中学校	1年生
	青山中学校	1年生

■総合的な学習の時間とは

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、学び方やものの考え方を身に着け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする時間。

柳津小学校での環境教育

柳津小学校では、毎年 5 年生を対象に、環境問題について考える学習を実施しています。令和 4(2022)年度は、岐阜市の出前講座等を組み合わせた「総合的な環境教育」を通して、自然環境について学びました。

5 月には、岐阜市の水環境や身近な川の調査についての講座を受け、岐阜市を流れる川の様子や仕組み、生活排水との関係などを学びました。また、校外体験講座として、川の生きものを調査することで川のきれいさを調べる「水生生物調査(カワゲラウォッチング)」を、学校近くの境川で実施しました。実際に川に足を入れ、網を持って川の中を歩きながら水生生物を捕まえ、生物の種類から水質の判定を行いました。

9 月には、水環境についての体験講座「みんなのトンボ池」を行いました。貴重な生き物が生息すると仮定した架空の池「トンボ池」の周りに町をつくるため、道路や家、工場、お店などの配置を考えるワークショップです。ただ町をつくるだけではなく、池の自然を守るために、どの施設をどのように配置すればよいか、班に分かれて、市民、牧場主、店長、工場の社長など、それぞれの立場に立って意見を出し合いました。その後、班ごとに作成した池を全てつなげて大きな川とし、周囲への影響について考えました。自分たちの排水が周りの地域に影響を与えることや、汚れやごみが川の下流に流れてしまうため、周りに住む人みんなが気を付けて生活しなければならないことを学びました。



身近な川の調査について学ぶ様子



水生生物調査(カワゲラウォッチング)の様子



水環境についてのワークショップの様子
(班で話し合った後、作成した池を全部つなげて大きな川に)

長良小学校での環境教育

長良小学校では、毎年、学年ごとに長良川や金華山など、学校周辺の自然を学ぶ取り組みを行っています。令和4(2022)年度は、岐阜市と協働で行う「総合的な環境教育」を通して、3年生が水環境や海洋プラスチックなどについて学びました。

11月に、水の循環についての講座を受け、人の身体の水分量や食べ物に含まれる水分量などについて、クイズを交えて楽しく学習しました。また、水のしずくになりきって地球を循環するサイコロゲーム「しずくの冒険」を体験し、地球上で水がどのように循環するのか、地下水や氷河など水が長く留まる場所があること、水の多くが海に存在することなどを、ゲームを通して学びました。

水に関する理解をさらに深めるため、同月、川に見立てた水槽の中に汚れを入れて、水の変化を観察する体験講座「川を汚したのはだれ？」を行いました。川の上流から下流に汚れが流れていくことや、人間の生活によって水が汚れることを知り、できるだけごみを捨てない、食べ残しをしないなど、川を汚さないために自分たちにできることを考え、発表しました。また、海洋プラスチックについて話を聞き、プラスチックごみが生物に与える影響などを知りました。これ以上、海にプラスチックごみ流れないようにするため、ごみを減らすこと、繰り返し使うこと、再生利用することの3R(リデュース・リユース・リサイクル)が大切だと理解しました。

1月には、水環境についての体験講座「みんなのトンボ池」を行い、町をつくりながらも自然を守るにはどうすればよいか考え、班ごとに意見を出し合いました。人間の活動と自然の共生の難しさや、周囲への影響を考えて水をきれいに使う必要があることを学びました。



水の循環についてクイズを交えて学ぶ様子



川の汚れを体験する様子



海洋プラスチックについて話を聞く様子



班ごとに考えて発表する様子